

新人看護職員研修だより

公立甲賀病院 看護部 教育委員会 新人看護職員研修担当

2012/12/01

第2号

宿泊研修を終えて

2012. 9. 13~9. 14

ダイヤモンド滋賀において



宿泊研修を終えて

A-3病棟 Y・N

入職してからの6か月を振り返り、本当にあっという間だったという感想を持ちました。宿泊研修では、仲間と日常を語ることで、同じような現状にあることを知り、自分だけかもしれないという考えがなくなり、みんな同じようなことで悩んでいると思うことで気持ちが楽になりました。

忙しさや疲れによって、業務をこなす日々慣れていきそうな時に改めて自分が目指す看護について考える機会があつてよかったと思いました。

同期と話し合い1つ1つの問題と向き合うことで、これなら明日からできる、実践しようという気持ちになりました。

二日間の間に考え方を改めることができ、自分が苦手とする部分を意識して仕事をしたいと思いました。



宿泊研修を終えて



宿泊研修を終えて

C-3病棟 N-1

今回の宿泊研修では同期の仲間と話し合い、親睦を深めることで心にゆとり・自信をもって今後の研修に臨めるようにする目的で参加しました。

先輩は、看護はその場面にあわせて変えていく必要があると言われていました。いろいろと行って初めて自身の看護が見えてきます。これはスタッフとの関わりの中でも同じで、進んでコミュニケーションを取っていかねば円滑なチームにはならないと思いました。

今回の研修では、新人看護師という同じ立場のメンバーと話し合い、思いを共有できました。それぞれ目指す看護はありますが、そこにたどりつくには大きく3つの課題が見つかりました。1つずつ乗り越えていけるようにしていきたいと思いました。



急変時の看護 研修



急変時の対応は新人にはまだまだ難しい・・・日夜、勉強中です。



ご指導をいただいた先生方からのメッセージ



新人看護師への応援メッセージ

副院長 内科医師 T・K

新しく職場に入って、短い時間にいっぱい覚えることやしなくてはならないことがあったことと思います。パニックになってしまったこともあったことでしょう。何にでもすぐに100%マスターした理想の看護師にならなくても良いのです。看護師としての人生は長く様々です。学生時代のように与えられ限られた時間にする試験勉強ではないのです。結果は点数で評価するものではないのです。今後何十年もあなたの時間は続いているのです。ゆっくりの人はゆっくりで良いのです。患者さんから教わることも多いのです。自分で必要を感じ自分で考え、学び続ける気持ちが大切です。暖かい気持ちで患者さんを看つづけられる看護師になられることを祈願します。

新人看護師研修にたずさわって

薬剤部部长 M・Y

毎年度の初期、薬剤部では特に取り扱いに注意を要する麻薬、向精神薬、抗がん剤、インスリン製剤などの薬剤の安全な取り扱いについての講義を新人看護職員教育の一環として行ってきました。講義終了後、新人看護師さんからのアンケート調査では、「院内では多くの種類の薬が使用されていて、中には外観が似ている薬も多数あることがわかった」、「薬は飲み方や使い方を誤ると患者さんに重大な健康被害を引き起こしてしまうおそれのあることが理解できた」などの感想が記載されており、薬の取扱いは医師の指示通りに間違いなく行わなければならない重要性に一定の理解が得られているようです。しかし一方、現状では新人さんが関与した薬に関するインシデントの発生が散見されます。そこで、誤りのない最適な薬物療法を患者さんに提供するためには、新人看護職員のみならずベテラン看護職員も含めた全看護職員、医師及びその他医療スタッフと薬剤師の協働・連携による薬の安全使用に向けた取り組みが今後さらに必要であると考えています。そして、薬の安全使用に向けた取り組みの具体策として、新病院では薬剤師の病棟薬剤業務を現在より拡大展開する予定です。どうか、今後とも薬の医療安全向上のための活動にご協力頂きますよう本紙面をお借りしてお願い申し上げます。

新人看護研修にたずさわって

臨床工学課 課長補佐 K・U

ME 機器は医療の高度化に伴って多岐複雑化する傾向があり、看護スタッフに限らず ME 機器に対して苦手意識を持っている方が多くおられる様になります。この苦手意識を吹き飛ばせるよう、ME 機器に触れる時間を出来るだけ多くとり、手順や実技に重点を置いた研修内容にと配慮しています。

今回は、多施設からの参加者が多いこともあり、例年よりも熱気に満ち溢れていたと感じました。研修会中程から参加者の表情が和らぎ、ME 機器に対する意識に少し変化が表れてきたように見受けられました。

今後も臨床や研修会を通じて、患者さんに安全な医療を提供できるよう協力していきましょう。研修会お疲れ様でした。



新人看護職員研修を受講して



教育担当者研修を受講して

A-4 病棟 M・H

今まで私達は無意識に現場の厳しさを教えたり、この位はできなければ困るなどの即戦力を求める傾向が強くありました。更に超高齢化、医療の高度化、家族背景の複雑化などの医療を取り巻く環境の変化により看護職の役割も多様化しています。新人看護職員は担当する患者数も増え、重症度の高い患者を看る機会も増えてきました。また、休日出勤や夜勤導入に向けての課題も多く、今なお混乱期から統一期へ移行できるか否かの渦中にあります。その中で、出来ない部分に目を向けるのではなく、どうすれば新人の力を伸ばせるのかということに視点を置き、教えるのではなく育てるという気持ちで接していく必要があります。そして、お互いの期待と欲求や様々なストレスを抱えるのでストレス反応を見逃さず、新人看護職員や実地指導者のストレスマネジメントに携わっていくべきだと思います。

新人看護職員責任者研修を受講して

A-3 病棟 K・U

私が新人看護職員担当委員になって3年目を迎え、研修企画、運営を進めていく中で研修体制の評価や教育目標に沿った達成可能な計画を実行するため、新人看護職員責任者研修5日間コースを受講しました。新人看護職員研修ガイドラインを元に研修体制を実施していますが、今年度はその体制の在り方と評価の年とされています。

1年間の努力義務達成に向け、新人看護師を育成しようと努力しているが新人職員を取り巻くスタッフ、フォロー看護師たちが先につぶれてしまう可能性も危惧されます。フォロー看護師や現場の状況から考えてローテーション研修を2年、3年計画で実施する方法や実地・教育担当者の支援体制の在り方、また現状の中で臨床実践力を高められる新人看護職員をどう育成していくかなど、その役割は重要であると感じました。



今後の研修予定

1月30日(水)

- ・教育担当者・実施担当者との合同研修(自己の看護の振り返り)

編集後記

現在、新人看護師は休日出勤や夜勤に向けての準備など、看護チームの一員として成長しています。指導者は、経験が広がった新人に対する多様な期待も過大になりがちですが、新人の考えや思いを大切にした指導にご協力をよろしくお願いいたします。

担当：岡・小嵯・吉田

